

公表

児童発達支援事業所における自己評価総括表

○事業所名	AKIDS南大沢		
○保護者評価実施期間	令和8年1月20日		令和8年2月15日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	31	(回答者数) 16
○従業者評価実施期間	令和8年1月15日		令和8年1月31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数) 7
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年 3月 1日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	指導員と1対1での個別運動療育による支援と、指導員の指導力の高さです。お子様たちの特性を受け入れ重視しながら指導員は関わることができ、個々の自己肯定感を高めています。今後も指導員同士で研究を重ねてお子様たちの支援に役立たせていきます。	個別支援計画の目標に対しアプローチの方法をたくさん考えて支援に入ります。 また、課題に対する難易度、その日の体調、情緒面などを考慮し無理なく成功体験が得られるようにしています。	指導員全員の共通理解と支援記録を細かく記入することで、情報共有ができ、問題点があれば、スタッフ全員で考えます。 また支援記録に書くことができなかった情報は終礼時に共有します。
2	45分の療育の最初のウォーミングアップと最後のストレッチを小集団で行いますが、多数の集団に入ることの困難さを持っているお子様たちにとって、指導員が付く安心感があり、集団参加への経験を積める支援体制となっていることです。	集団への参加の基礎となる挨拶、模倣動作、他者への気遣いなど社会性に繋がる要素を含めて、取り組んでいます。	発達段階や特性に応じて段階的に目標設定ができ支援ができるようになると良いと思います。 またウォーミングアップでの動きを競うのではなく、1人1人が丁寧にできるように取り組んでいます。
3	療育後のその日の運動に関するフィードバックの際に、運動面のみでなく、幼稚園、保育園等の近況を報告していただくことで、保護者との情報共有ができています。	報告を受けた際に、保護者様との情報共有の中に問題があると感じた場合は、児童発達支援管理責任者に報告をすることで、保護者と即時の面談や、情報共有ができるようになっていきます。	今後も引き続き、運動療育後のフィードバックで指導員が保護者様から報告を受けた内容は終礼時に他の職員に共有することで、内部における「報連相」を徹底していきます。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	施設環境の問題であるが、種目によっては療育場に3人の利用者が入ること狭く感じます。	利用されているお子様たちも年々成長するため現在は高学年も多く、就学前のお子様と小学生が同時間になることで危険が生ずる場合があると考えます。	療育の時間を同年齢のお子様で利用していただくことが理想ではありますが、それは現AKIDSでは難しいので、指導員が危険がないように注意を怠らないようにします。
2	経年劣化を感じさせる建物で、壁に穴があいたり、湿気を外へ出すことが難しいことがあります。	療育場の壁面等にも穴があいています。またその壁穴から壁土そのものがポロポロ落ちてきます。	壁穴には上から厚めの段ボールや画用紙を貼って図形模様のようにしていますが、修理が早急に必要と感じます。
3	施設の年間予定や都合により施設そのものが休館となり、AKIDSが営業できなくなる時があります。	フィットネスクラブの一部をお借りしての使用している為、やむを得ないところがあります。	施設内で営業できない場合は、早めに教えていただき、民間の他施設を借りることで、普段できない集団療育にプログラムを変更します。利用されるお子様たちの年齢、特性を考えてメンバーを分けることでスムーズに集団療育に変わります。

公表

児童発達支援事業所における自己評価結果

事業所名		AKIDS南大沢					公表日	令和8年 3月 1日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点			
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	7						
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	7						
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	7						
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	7		毎日の清掃を徹底しています。				
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	7						
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	7						
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7						
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7						
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	3	4	第三者評価は行っていません。				
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	7						
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7						
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	7						
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7		個別支援けいっかう作成時にはケース会議を行い、職員の見解も加味しながら保護者様の意向に添った個別支援計画を作成しております。				
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7		指導を担当する職員が毎回確認できるように、個別支援計画を支援記録ファイルに挟んで共有しています。				
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	7						
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7						
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7						

供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7			
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	7			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7			
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	7			毎日の終礼で気づいたこと、利用者の様子などを共有しています。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7			
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7			
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7			
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	7			
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	7			
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	4	3		就学直前には実施しておりません。
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。	—	—		
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	—	—		
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	—	—		
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	2	5		事業所の近くの子ども家庭センターと、保護者の同意を得て連携を取ることがあります。
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。		7		園の様子や小学校の様子を毎回聴取はしていますが「交流」という形は取っていません。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	7			支援後に保護者と近況を共有する場を設けています。
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	5	2		以前は実施していたが、現在は実施しておりません。	
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7			契約時に時間をかけて説明をしております。
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7			利用開始前の契約時に課題やニーズを分析し、運動療育の培われる能力の確認をします。その後は半年に1回のモニタリングで現状の変化や達成度を確認しています。

保護者への説明等	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	7			
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7			
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	1	6	通常の療育内で保護者の見学席を設けている為そこで保護者間の交流があります。父母の会の活動は実施しておりません。また事業所のサービス提供時間から考えると実施は難しくこれからも開催予定はありません。	
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7			
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	7		法人でインスタグラムを活用し活動内容を動画で発信しています。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7			
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7			
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		7	必要性を感じていませんが、ご要望があれば運動療育を知っていただくように地域の方にも見学ができるようにしていきたいと思えます。	
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7			
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7			
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	7			
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	4	3	事業所内で食事やおやつを提供していないため医師の指示書の提出をお願いしておりません。食べ物を提供する際は保護者様に都度確認をさせていただいています。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7			
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	7			
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7			
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7			
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	7				

保護者等向け 児童発達支援評価表

公表日: 2026年3月1日

事業所名: 児童発達支援 AKIDS南大沢

対象人数(保護者)33人 回答者数 16人 回収 48.5%

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制整備	①	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	12	4			3人が活動するには狭いようにも感じる	種目によってはもっと広さがあると良い場合もありますが現状拡大するのは難しいためご理解をいただきたいと思います。
	②	職員の配置数は適切であると思いますか。	16					
	③	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	14	2				
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	13	3			施設内にプールがあるため、ジメジメしている時がある。カビのような匂いも気になる時があります。	ご迷惑をおかけし申し訳ありません。保護者待合スペースがプールからの湿気をまともに受けてしまいますが、療育場では運動器具の消毒や清掃は日々行っておりますのでご理解いただきたいと思います。

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
適切な 支援の 提供	⑤	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	15	1				
	⑥	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	16					
	⑦	こどものことを十分に理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画(個別支援計画)が作成されていると思いますか。	16					
	⑧	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	15	1				
	⑨	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	15	1				
	⑩	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	13	2		1		
	⑪	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	4	4	6	2		

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
保護者への説明等	⑫ 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	16					
	⑬ 「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	15			1		
	⑭ 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	7		2	7		以前オンラインで実施しておりました。また機会がありましたら実施したいと思います。
	⑮ 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていますか。	15				1	
	⑯ 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	12	3	1			半年に1回の面談を通して療育を通してのお子様の成長の共有や、保護者様からは日常や学校生活に関しての状況をお話をいただきお子様の状況を共有させていただいております。
	⑰ 事業所の職員から共感的に支援がされていると思いますか。	15	1				
	⑱ 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	2	4	4	6		
	⑲ こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	9	3	1	3		お子様のご相談に関してはお申し出があればいつでも対応できるようにしております。これからも遠慮なくご相談ください。
	⑳ こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	14	1			1	
	㉑ 定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	9	2			5	
㉒ 個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	16						

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
非常時等の 対応	㉓	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	10			6		事業所ではお子様方の大切な命をお預かりするためにそれぞれの各マニュアルに沿って職員が勉強会を実施しております。また訓練も同様に年2回(職員のみと利用者を交えての訓練)実施しております。
	㉔	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	8			8		
	㉕	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	12	1		3		
	㉖	事故等(怪我等を含む。)が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	10	1		5		怪我がないのが1番ですがやむを得なく事故が発生した場合、保護者様、AKIDS本部、八王子市障がい者福祉課に連絡を入れ、事故報告書を提出しております。
満足度	㉗	こどもは安心感をもって通所していますか。	16					
	㉘	こどもは通所を楽しみにしていますか。	15	1				
	㉙	事業所の支援に満足していますか。	14	2				

公表

放課後等デイサービス事業所における自己評価総括表

○事業所名	AKIDS南大沢		
○保護者評価実施期間	令和8年1月20日		～ 令和8年2月15日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	73	(回答者数) 38
○従業者評価実施期間	令和8年1月15日		～ 令和8年2月15日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数) 7
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年 3月 1日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)と思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	指導員と1対1での個別運動療育による支援と、指導員の指導力の高さです。お子様たちの特性を受け入れ重視しながら指導員は関わることができ、個々の自己肯定感を高めています。今後も指導員同士で研究を重ねてお子様たちの支援に役立たせていきます。	個別支援計画の目標に対しアプローチの方法をたくさん考えて支援に入ります。 また、課題に対する難易度、その日の体調、情緒面などを考慮し無理なく成功体験が得られるようにしています。	指導員全員の共通理解と支援記録を細かく記入することで、情報共有ができ、問題点があれば、スタッフ全員で考えます。 また支援記録に書くことができなかった情報は終礼時に共有します。
2	45分の療育の最初のウォーミングアップと最後のストレッチを小集団で行いますが、多数の集団に入ることによる困難さを持っているお子様たちにとって、指導員が付く安心感があり、集団参加への経験を積める支援体制となっていることです。	集団への参加の基礎となる挨拶、模倣動作、他者への気遣いなど社会性に繋がる要素を含めて、取り組んでいます。	発達段階や特性に応じて段階的に目標設定ができ支援ができるようになると良いと思います。 またウォーミングアップでの動きを競うのではなく、1人1人が丁寧にできるように取り組んでいます。
3	療育後のその日の運動に関するフィードバックの際に、運動面のみでなく、学校、学童等の近況を報告していただくことで、保護者との情報共有ができています。	報告を受けた際に、保護者様との情報共有の中に問題があると感じた場合は、児童発達支援管理責任者に報告をすることで、保護者と継続的な面談や、情報共有ができるようになっています。	運動療育後のフィードバックで指導員が保護者様から報告を受けた内容は終礼時に他の職員に共有することで、内部における「報連相」を徹底していきます。

	事業所の弱み(※)と思われること ※事業所の課題や改善が必要と思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	施設環境の問題であるが、種目によっては療育場に3人の利用者が入ることによって狭く感じます。	利用者の子どもたちも年々成長するため現在は高学年も多く、思いきり走ったり、ボールを投げるのが難しい場合があります。	6年生までが利用できる事業所として利用者を位置づけるか、又は、もう少し学年を下げ卒業とするなどを考えていく必要があるかと考えます。
2	経年劣化を感じさせる建物で、クロスが破れ壁に穴がいたり、湿気を外へ出すことが難しいことがあります。	経年劣化という時を経た使用感があるため、汚れや耐久性の限界にきているのではないかと思います。	壁穴には上から厚めの段ボールや画用紙を貼って図形模様のようにしていますが、修理が必要と感じます。
3	施設の年間予定や都合により施設そのものが休館となり、AKIDSが営業ができなくなることがあります。	フィットネスクラブの一部をお借りしての使用している為、やむを得ないところがあります。	施設内で営業できない場合は、早めに教えていただき、民間の他施設を借りることで、普段できない集団療育にプログラムを変更します。利用されるお子様たちの年齢、特性を考えてメンバーを分けることでスムーズに集団療育に変わります。

公表

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果

事業所名	AKIDS南大沢		公表日		令和8年 3月 1日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	7			
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	7		個別で支援を行う職員だけでなく全体を把握し見守る指導員を配置しています。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	7		施設に入ってから事業所までの廊下に階段があるが、手すりをつけて対応しています。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	7			施設内の経年劣化により修繕が必要な箇所が見られるために、早めに修理が必要と考えています。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	7		療育スペース以外では、面談室を場合によって利用しています。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	7			
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7			
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	2	5		第三者評価は実施していません。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	7		事業所単体で専門職職員から資質向上のための研修の場を確保しています。	
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	7			
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7			
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7			
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	7			
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7		1対1の個別療育の為、その日のプログラムは担当指導員が計画をしますが内容に関しては職員全員で共有し、支援に活かしています。	

援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7			
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	7			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7			毎朝の朝礼で当日の職員全員で共有しています。支援記録等の確認をしてプログラム内容を決めています。緊急性のある配慮が必要な利用者の支援には適宜会議を実施しています。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	7			
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7			
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7			
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	5	2		支援内容が運動なので、日常生活の充実のための支援となっていると考えます。地域交流はしていません。
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	7			
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5	2		
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6	1		
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。			7	利用者が通う小学校の年間行事予定はありますが、送迎がないため、学校との共有はできていません。保護者様から要望があればいつでも情報共有ができるようになっています。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。			7	保護者様から要望があればいつでも情報共有ができる対応をしています。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。			7	現在中学生までの利用なので、質問内容に該当する利用者はいません。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	5	2		こども家庭支援センターとの情報共有をしています。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。			7	該当しません。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。			7	該当しません。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	7			
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	4	3		以前はペアレントトレーニングを行っていましたが、現在は実施していません。継続的に実施できる機会を今後も計画できるようにしたいと思います。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7			
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7			
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	7			

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7		必要に応じて面談の機会を確保しております。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	1	6	通常の療育時間内で保護者の見学席を設けているので、そこでの保護者間の交流はあります。	父母の会の活動は実施しておりません。今後も事業所のサービス提供時間からは難しいと考えます。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7			
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	7		法人でインスタグラムを活用し活動内容を動画で発信しています。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7			
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7			
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		7		必要性を感じておりませんが、ご要望があれば運動療育を知っていただけるように地域の方にも見学ができるようにしたいと思います。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7			
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7			
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	7			
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	4	3	該当せず。 食事、おやつ等の提供がないため、意思の指示書の提出は求めておりません。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7			
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	7			
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7		終礼でヒヤリハット報告や、報告書による職員での共有で再発防止に気を付けています。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7			
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	7		ガイドラインでの周知がなされています。		

保護者等向け 放課後等デイサービス評価表

公表日: 2026年3月1日

事業所名: 放課後等デイサービス AKIDS南大沢

対象人数(保護者)75人 回答者数 38人 回収 50.7%

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制整備	①	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	36	2				
	②	職員の配置数は適切であると思いますか。	37	1				
	③	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	33	4		1		
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	37	1				

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
適切な支援の提供	⑤ こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	37			1	いろんな運動を子どもに合わせてやってください。特に、理学療法士、作業療法士の方の体の評価が専門的で、具体的にアドバイスしてくださっている。	AKIDSでは専門職(OT/PT/ST)他心理士など配置しております。運動面のみでなく体の機能訓練等を踏まえて療育をしております。
	⑥ 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	37			1		
	⑦ こどものことを十分に理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画(個別支援計画)が作成されていると思いますか。	38					
	⑧ 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	38					
	⑨ 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	38					
	⑩ 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	36				2	
	⑪ 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	6	4	19	9	必要性を感じません。うちでは特に必要としないので不要です。	年中無休で療育を提供していますので、今後も地域連携による活動予定はありません。

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
保護者への説明等	⑫ 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	36	1		1		
	⑬ 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	37	1				
	⑭ 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	26	6	1	5		
	⑮ 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていますか。	33	3	1	1		
	⑯ 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	33	1	1	3		
	⑰ 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	37	1				
	⑱ 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	3	5	12	18	イベントなどはありませんが、他のご家庭を見ていて、日頃からきょうだい児への配慮もされていると感じます。	保護者様主体の会の開催は今後も企画予定はありません。きょうだい児に関しては可能な限り同時間で療育が受けられるように配慮をさせていただいております。
	⑲ こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	29	4		5		
	⑳ こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	35	1		2		
	㉑ 定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	30	2	1	5		自己評価表の結果はHPで公開しております。
㉒ 個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	37	1					

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
非常時等の 対応	⑳ 事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	27	3	1	7		事業所ではお子様方の大切な命をお預かりするためにそれぞれの各マニュアルに沿って職員研修、勉強会を実施しております。また訓練も同様に年2回(職員のみと利用者交えての訓練)実施しております。BCP安全計画に関しては保護者様が手に取ってご覧いただけるようになっております。
	㉑ 事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	26	3	1	8		
	㉒ 事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思えますか。	33	2		3	子どもが鉄棒をしている際に、うまく補助しきれず、子どもが鉄棒から落ちてしまっているのを見たことがあります。また、マット運動の際のマットの配置が不十分だったり、子どもをマット運動させる位置が危険(壁のすぐそばなど)だった時がありました。見ていてヒヤヒヤする時があるので指導いただくと大変助かります。	大変申し訳ありませんでした。大怪我に繋がるので、今後も十分注意を払い、日々の支援の際の補助態勢の研修をして参ります。ご心配をおかけして申し訳ありませんでした。
	㉓ 事故等(怪我等を含む。)が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思えますか。	31	2		5		怪我がないのが一番ですがやむを得なく事故が発生したバイ、保護者様、AKIDS本部、八王子市障がい福祉課に連絡を入れ、事故報告書を提出しております。
満足度	㉔ 子どもは安心感をもって通所していますか。	38				安心して先生に気持ちを伝えられていて、コミュニケーションをとりながら療育をさせていただいております。	ありがとうございます。AKIDS南大沢は「子どもたちの最善の利益」をモットーに運動療育を提供しております。これからもお子様方の居心地の良い所としてご利用いただければ幸いです。
	㉕ 子どもは通所を楽しみにしていますか。	36	2			先生方が、子どもの性格をしっかり見てくださり、その子に合った声かけをしてくださるので楽しみに通えています。毎週とても楽しみにしています!	ありがとうございます。今後も楽しみに通っていただけるように職員一同運動療育支援させていただきます。
	㉖ 事業所の支援に満足していますか。	37	1			とても満足しております。AKIDSさんだからほっとしたり、先生と一緒に頑張れたり。第二の居場所になっております。子供を中心に先生方や皆様と繋がりを感じられて、心強さがいつもあります。いつもありがとうございます!先生方のご指導のおかげで、運動面でできることが本当に増えました。息子自身も「諦めずに練習すれば、できるようになる」と苦手な鉄棒や縄跳び、マットにも前向きに取り組んでいます。これからも引き続きどうぞよろしく願いいたします。	職員一同とても励みになるお言葉をいただきありがとうございます。お子様方の「できた!」の声や「頑張った!」の声に励まされるのはお子様のみならず職員も同じです。これからも、お子様自身のペースで達成感や自己肯定感を高めて行けたらと思います。どうぞよろしくお願い致します。